

## 2018 年度 i.school 通年生募集要項

東大発イノベーション教育プログラム i.school は、2018 年度の通年生を募集します。

i.school で学ぶ学生の目標は、現実社会において解決が困難な問題やそれを取り巻く複雑な状況に直面した時に、創造的な課題に対するプロセスを主体的にデザイン出来るようになることです。2018 年度開催のワークショップと国内外フィールド調査、トークイベントなどへの継続的かつ優先的な参加が可能となる「通年参加学生」（以下、通年生）の募集を開始します。

2018 年度は、国内外で 8 回のワークショップを実施する予定です。通年生は全ワークショップに参加出来ます。各ワークショップは、通年生に加え、パイロット学生（スポット参加する学生）、スポンサー企業からの社会人の参加もあり、合計 20~25 名程度の参加者で実施されます。

ワークショップへの参加以外にも、フィールド調査やイノトークなど各種プログラムに優先的に参加権が与えられます。国内外のイノベーション業界の最前線で活躍されている方々が i.school を訪問された時に開催されるイノトークなどのクローズドイベントにも参加することが出来、これまで、IDEO 社長 Tim Brown 氏と IDEO 副社長 Tom Kelley 氏、Toronto 大学 Rotman School of Management（ビジネススクール）学部長の Roger Martin 教授、“Business Model Generation”の著者 Yves Pigneur 教授、HPI d.school Director の Ulrich Weinberg 教授 らが i.school を訪れ、i.school 生と議論する機会を持ちました。

また、通年生は<http://www.jsic.or.jp/>（日本社会イノベーションセンター）の主催する官民合同のワークショップやプロジェクトに参加して、i.school で学んだ手法を社会イノベーションの現場で実践いただくことも可能です。

年間を通じて所定の水準以上の参加実績が認められた通年生は「修了生」と認定します（学位の授与ではありません）。修了要件は以下の通りです。

- ・必修ワークショップ WS1、WS8 に参加していること。
- ・年間に行われる 8 つのワークショップの総時間数の 70 パーセント以上の参加実績があること。（プログラム表をご参照ください。）

また、年間を通して参加者としてワークショップにフルコミットいただいた通年生は、2 年目は DP（ディスカッションパートナー）という位置づけで、引き続きワークショップのデザインやテーブルファシリテーションを通じた学習機会に参加していただくことが可能です。

#### 定員>

2018 年度に大学 4 年生・大学院生を中心として、 20 名程度

※2019 年度も学生として大学院に在籍する予定の 2018 年度大学 4 年生及び修士 1 年生の学生を優先します。

#### 募集期間>

2018 年 3 月 1 日～3 月 31 日

※書類選考は先着順に絶対基準で募集期間中随時行い、結果及び次回の選考について通知します。

※選考は随時行っているため、例年後半になるに従って残り枠が少なくなり選抜基準が上がります。参加意欲の高い学生は、早めの応募をお勧めします。

#### 応募条件>

- ・自らがイノベーションを起こしたいと本気で思っていること
- ・異なる専門分野の人との日本語を用いたグループワークが円滑に出来ること
- ・異なる専門分野及び文化圏の人との英語を用いたグループワークに挑戦出来ること

#### 選考プロセス>

一次選考：書類（オンラインからの応募内容を審査）

二次選考：グループ面談（複数名の応募者と i.school スタッフ陣とのグループワーク形式での面談）

※グループ面談の日程は書類審査結果の通知の際お知らせします。

#### 応募方法>

- ・ A4 サイズ 1 枚で応募シートを作成、フォーマットは自由だが、必ず以下の情報は含むこと。

氏名、所属、学年、メールアドレス、電話番号、i.school に参加したい理由、自らの能力や可能性の高さ。

- ・ 応募シートは pdf ファイルとしてサーバーに上げて（Dropbox、GoogleDrive など OK）、以下の応募フォームより応募の際、ダウンロードのためのリンクを共有すること。
- ・ 上記の応募シートを用いて、第一次選考の書類審査を行います。

#### 応募フォーム>

※応募の前に、応募シート（A4、pdf フォーマットで 1 枚）をご準備下さい。

※応募フォームへの入力には 2018 年 4 月時点での情報をお願いいたします。

【応募フォーム】

[http://ischool.or.jp/application\\_form/2018annual\\_call/](http://ischool.or.jp/application_form/2018annual_call/)

## 【ワークショップ】2018 年度予定

	日程	ファシリテーター	会場	言語	総時間数	%
WS1	「農業の未来」					
	5/4 (金) - 6 (日) (合宿スタイル)	堀井秀之	東京大学山中湖寮	J	96	22.4
WS2	「おもちゃのイノベーション」					
	5/16 (水) 5/23 (水) 5/26 (土) 5/30 (水) 6/2 (土) (水) 19時-22時、(土) 13時-18時	横田幸信	i.school スタジオ	J	19	4.4
WS3	「Trust」					
	6/6 (水) 6/13 (水) 6/20 (水) 6/30 (土)	柴田吉隆	i.school スタジオ	J	16	3.7
WS4	「ムダを出さない消費生活の未来」(仮)					
	7/13 (金) - 7/14 (土) 10時-18時	栗田恵吾	i.school スタジオ	J	16	3.7
WS5*	「東京発、物語を埋め込んだ製品・サービス」(他)					
	7/30 (月) - 8/10 (金)	堀井秀之	東大駒場キャンパス・他	E	96	22.4
WS6	未定					
	9月中1日を予定	Miles Pennington	i.school スタジオ	E	8	1.9
WS7	タイトル未定					
	9/21 (金)、9/23 (日) (仮)	濱口秀司	i.school スタジオ	J	10	2.3
WS8	「パブリックスペースのイノベーション」					
	10月~12月(10回程度)	堀井秀之	i.school スタジオ	J	168	39.2

※プログラム日程、内容は今後変更する可能性があります。それによって合計時間数、パーセンテージも変動します。  
 ※必修のWS1、WS4については総時間数を4倍にして計算されています。

\*WS5はTISP(東京大学イノベーションサマープログラム)として開催され、海外の学生も参加します。東京でのワークショップと地方でのフィールドワークにより構成されます。詳細は<http://ischool.or.jp/summer/>をご覧ください。

## スペシャルワークショップについて

IITH(インド工科大学ハイデラバード校)との合同ワークショップをハイデラバードにて開催します。(開催予定:2019年3月)(宿泊費の一部が自己負担となります。)

## イノトークについて

イノベーションをキーワードとして、日本または世界の最先端で活躍する実務家や研究者を招き、プレゼンテーションをお願いする他、オーディエンスを交えたディスカッションを行います。通年生、修了生、スポンサー企業に参加者を絞り、小人数で密度の濃いディスカッションを実現する非公開イベントです。1、2カ月に1回のペースで不定期に開催しています。

※ワークショップ参加費について

原則としてワークショップ参加費用は無料です。WS5 は実費の一部が自己負担となります。

※パイロット生について

通年生が年間プログラムの全てに優先的に参加出来るのに対して、ワークショップごとに応募参加する学生をパイロット生と呼びます。パイロット生は公募するケースはほとんどなく、通年生に応募した学生を対象に募集をするケースがほとんどですので、i.school プログラムへの参加を希望する場合は、通年生に応募することをお勧めします。パイロット生として多くのワークショップに参加し、結果として修了生となる学生もいます。